

平成29年度 集団づくり部会

1. 研究課題

「さまざまな集団の中で生き生きと活動するためには、どのような実践や工夫を取り入れるべきか」

2. 討議の柱

- (1) 全校や異学年の集団の中で、児童・生徒が生き生きと活動するための実践と工夫(小・中)
- (2) 学級や学年の児童が生き生きと活動するための実践と工夫(小)
- (3) 学級や学年の生徒が生き生きと活動するための実践と工夫(中)
- (4) 児童・生徒が生き生きと取り組む集団活動の工夫(小・中)

3. 研究協議会時の交流体制および運営体制

(1) 討議の方法

- ① 前半は、体育館で全体会(講演)を行います。
- ② 後半は、実践交流を行います。

○第1・2・3分科会

4～5名程度の小グループによる
レポート交流

○第4分科会

共通のテーマを設定し実践交流

(2) 分科会の構成

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 第1分科会 | 児童会・生徒会活動・学校行事
異学年交流(小学校・中学校) |
| 第2分科会 | 学級づくり・日常実践(小学校) |
| 第3分科会 | 学級づくり・日常実践(中学校) |
| 第4分科会 | 行事や集会でのレク・表現活動
(小学校・中学校) |

(3) 会場

第3分科会と第2・4分科会の南ブロック
⇒北広島市立広葉中学校

第1分科会と第2・4分科会の北ブロック
⇒江別市立野幌中学校

(4) 運営体制

広葉中6名、野幌中6名の運営委員で運営します。

(5) 実践レポートの作成のお願い(部数、形式)

分科会ごとに全部員が実践レポートを作成します。同じ学校で、同じ分科会に所属する部員がいる場合、連名のレポートでも構いません。

・内容…研究1年目です。各分科会のキーワードをもとにしたレポートを作って下さい。

・形式…A4サイズ 1枚程度 様式は自由です

・部数…広葉中会場200部

野幌中会場200部

穴をあけずに当日ご持参下さい

・分科会前に各分科会で配布します。

(6) 司会、提言、記録者等

小グループ交流では、司会者・記録者を当日お願いすることになります。積極的に参加していただけるとありがたいです。

4. その他

2年継続研究の1年目です。今年度も全体会として、講演会を予定しています。今年度はまた違う方に講演をお願いする予定です。

今年度の分科会は昨年度と大幅に内容を変更しました。HPなどで研究内容やキーワードを確認して、レポートづくりをお願いします。

今年度も日常の「実践や工夫」「実践の工夫によって表れた効果」「実践するまでの所々の苦悩やうまくいくコツ」などが見え、抱えている課題などが解決できるきっかけになればと考えています。

(文責 福島 みさと)